

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1471100105
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム びやくしんの苑
訪問調査日	平成21年3月17日
評価確定日	平成21年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1471100105
法人名	社会福祉法人 百鷗
事業所名	グループホーム びやくしんの苑
所在地	240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄62-4 (電話)046-875-8925

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F
訪問調査日	平成21年3月17日
評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】(平成21年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	12 人
常勤	3 人
非常勤	9 人
常勤換算	9.1 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り
	1階建ての 1階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,000 円	その他の経費(月額)	42,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	250 円	おやつ	100 円
	または1日当たり	1000 円		

(4) 利用者の概要(1月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名	
要介護1		名	要介護2	1	名	
要介護3	6	名	要介護4	1	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	85.2 歳	最低	67 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	横須賀北部共済病院、横須賀市立うわまち病院、青木病院、古屋歯科医院
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体は社会福祉法人百鷗で、この逗葉地域で、葉山清寿苑からスタートし、逗子清寿苑、久木のデイサービスそしてグループホームとしてこの”びやくしんの苑”及び”葉山の里”を展開し交流がある。JR横須賀線逗子駅からバスで10分弱の所にある。近隣は元々は丘陵で、高級住宅地であり、大家さんも地元の人であり、近隣との関係は当初より良好であった。地形的には元は沢であり、きれいな水が流れ、虫が生息していたところで、いまだに、上流には虫が生息していると言う。山の植物も豊富で、季節の芹、土筆、蕨、露の董、たらの芽、明日葉等が庭で採集できる。食事には力をいれ、またマイナスイオン水を食事からお風呂にまで使用し、美味しさと健康を追及している。吊るし雛などの作品を中心としたインテリアは益々充実し、さながら美術ギャラリーで、特に四季の移り変わりに応じて模様替えをすることで、利用者がそれに目を向け、変化に気付き、いやされ、また前向きに生きる活力を促している。体操を1日2回、7年間継続する等のエクササイズや文化活動を継続することによる刺激、体力の維持、新たな体験による活性化を推進している。ホーム内の衛生には神経質なほど気を使い、職員、利用者が一緒になって掃除、消毒を常に実施している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>この1年間は、職員の交代等もあり、新入職員も入職されたので職員の教育に力を入れ、特に内部研修の充実を図った。新人の教育を意識して、介護の基礎的技術の研修(新人)と再確認(既存の職員)を先ず行い、併せて業務の改善も手がけた。業務改善では日常業務の見直しと効率化、マニュアル類の見直しを行った。開所以来年月が経過し、利用者のADL低下に対応する身体的・精神的ケアの充実、入居者の入退所に伴う個人的特長の把握など幅広い研修と改善を行った。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は必ず全員に記入してもらっており、今回も同様に全員に記入してもらい、管理者と正規職員で纏めた。職員全員は評価の意義を理解している。評価を実施するからではなく、日々利用者1人1人の意見を大事にしたり、苑内を綺麗にしたりして、心地よく過ごせるよう改善に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は平成18年10月以降、定期的に開催してきた。メンバーは葉山町福祉課職員、町内代表として民生委員、利用者本人、ご家族、それにホーム関係者2名である。ホームとして準備しているテーマは入退所及び現在の入居者状況報告、行事報告、ボランティア活動報告、事故報告、苦情処理報告、面会状況報告、職員研修報告などを行っている。葉山町福祉課職員、民生委員を中心とする運営推進会議であり、福祉に関する知識は充分あるので、現状、特にこれ以外のテーマを決めず情報交換を行っている。葉山町福祉課職員、民生委員とホームで今後のテーマを検討して行く。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族向けに「びやくしん便り」を年1回発行し、お届けしている。また、個人別には毎月の介護内容記録を預り金明細等と一緒に写真を添えてお届けしている。介護計画策定に当たっては、定期的にカンファレンスを開催し、ケアマネジャー中心にアセスメントを行うとともに、ご家族とも話し合いを持ち、ご意見を聞き、それを加味した形の介護計画と一緒に策定し実施するようにしている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>この地域の自治会活動はあまり活発ではないので、個別に地域の方々との交流を大切にしてきた。この活動の延長でホームのバザーを開催している。地域の協力を得て、寄付された商品、ホーム手作りの製品、出店などのバザーを7年続けており、定着し、ご近所も楽しみにしている。今年は5月23日(土)の予定である。ボランティアもバザーに関連した手芸、手工芸(袋者作成)などの他、絵手紙、合唱、オカリナなど来てくれている。近所のかたはバザーの縫い物のお手伝いにボランティアで来てくれている。</p>
重点項目④	

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	社会福祉法人百鷗の理念は地域に開かれた施設作りを目指しており、グループホームも地域とのふれあいを大切にして常に地域に信頼されるホーム作りをしている。		今後も継続して実施して行く。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に理念を掲示しているが全職員が理念の実践に日々取り組んでいる。		今後も継続して実施して行く。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しているが地域活動はあまり行なっていないので近隣の方との交流をしている。ホームのバザーを開催している。地域の協力を得て、寄付された商品、ホーム手作りの製品、出店などのバザーを7年続けており、定着し、ご近所も楽しみにしている。長柄小の行事の参加や葉山社協の福祉交流会への参加。又子供110番も引き受けている。		ゴミ集積所の清掃をして交流に努めている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は必ず全員に記入してもらっており、今回も同様に全員に記入してもらい、管理者と正規職員で纏めた。職員全員は評価の意義を理解している。評価を元に改善している。		評価を生かし具体的な改善に向けて取り組んでいる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では3ヵ月毎の利用者の状況やサービス実施報告をし、いろいろな意見とサービス向上に生かしている。葉山町福祉課職員、民生委員を中心とする運営推進会議であり、福祉に関する知識は充分あるので、現状、特にこれ以外のテーマを決めず情報交換を行っている。		今後も継続して実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	葉山町福祉課とは連絡を密にしている。		今後も継続して実施して行く。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族向けに「びやくしん便り」を年1回発行し、お届けしている。毎月介護内容記録、預かり金、明細書、利用者の写真を添えて送っている。又家族来苑時に状況説明し意見や希望を聞き介護計画に反映するようにしている。又必要に応じて電話報告している。		今後も継続して実施して行く。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情があったときはミーティングや会議で発表し対応策を話し合い運営に反映させている。		今後も継続して実施して行く。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	チームでケアを行っており、職員の移動による影響への配慮がされている。		今後も継続して実施して行く。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間内部研修を立て実施している。又外部研修は、専門研修、スキルアップ研修等の計画を立て受けている。		今後も継続して実施して行く。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣(含む逗子)のグループホームで不定期に交流会を行い、色々な情報交換をしている。	○	今後定着するよう努めて行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	気軽に施設を見ていただき他の利用者や職員と話をしながら場の雰囲気に馴染んでもらい入居後も本人の生活パターンを尊重して馴染めるよう工夫している。		今後も継続して実施して行く。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に生活しながらよく利用者と昼食後や夜に話、食事の準備や片付け、掃除等積極的に行なってもらいながら生活の知恵を教えていただいている。		今後も継続して実施して行く。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の希望や意向を常に把握して対応している。又日常の行動から利用者の行動パターンを把握して対応している。		今後も継続して実施して行く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画策定に当たっては、定期的カンファレンスを開催し、ケアマネジャー中心にアセスメントを行うとともに、ご家族とも話し合いを持ち、ご意見を聞き、それを加味した形の介護計画と一緒に策定し実施するようにしている。		今後も継続して実施して行く。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人や家族と話し合い作成している。又変化が生じた時は家族に連絡している。毎月のスタッフ会議でケース会議を実施し見直し作成している。		今後も継続して実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況により法人の2つの特養を活かしご本人の柔軟な支援を行っている。		今後も継続して実施して行く。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の時にかかりつけ医を聞き往診医療を受けられるよう支援している。緊急時津連絡を蜜にしている。		今後も継続して実施して行く。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族と重度化した場合や終末期のありかたについて話し合いをしている。		今後も継続して実施して行く。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには十分に注意しながら折にふれ会議やミーティング時に言葉かけや対応方法等を話し合っている。		今後も継続して実施して行く。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の意見を尊重しその人らしく過ごせるよう常に希望を聞きながら支援している。		今後も継続して実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に好みのアンケートをとりメニューにいかしたり、食事の下拵えや後片付けなど職員と一緒にこなしている。カレーライスの時は野菜を切ったり炒めたりしていた。		今後も継続して実施して行く。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	通常週3回曜日を決めているが希望やタイミングにあわせるようにして臨機応変に対応している。入浴剤やアロマを利用したりバスタブ風呂等で楽しんでもらっている。夜間入浴もしているが定期的に夜間での入浴を検討していきたい。		今後も継続して実施して行く。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	針仕事のできる方にはちりめん手芸をして作品を作り上げたりボランティアとの合唱や食事の下拵えをしたり洗濯物たたみをしたり、気晴らしの支援をしている。	○	今後も継続して実施して行く。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩、ウォーキング、暖かくなったら外気浴や外に歩いて行く買い物、庭でランチを召し上がっている。月1日の外食や年間行事を実施。季節に合わせて花見や日帰り旅行、みかん狩り、イルミネーション見学に出かけている。		今後も継続して実施して行く。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵をかけているが、居室ドアは施錠しない。又勝手口のドアも鍵をかけないよう付け替えた。		今後も継続して実施して行く。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回行っている。地震マニュアルを作成し今後避難方法を身につけたい。	○	法人の取り組みとして地域の防災、地域協力を結んでいる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食毎に食事量をチェックしている。利用者の身体状況によりメニューを変えたり調整している。水分についても不足がちな片には水分をチェックして確保に努めている。		今後も継続して実施して行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節感を出すよう、苑内の飾り付けを行なっている。又お香やアロマをたいて居心地よく過ごせるよう工夫している。		今後も継続して実施して行く。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の長年使っていた家具、他に囲まれ生活している。		今後も継続して実施して行く。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的にかつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	びゃくしんの苑
所在地 (県・市町村名)	神奈川県三浦郡葉山町長柄62-4
記入者名 (管理者)	高橋 正美
記入日	平成 21 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	今後も継続していきたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	今後も継続していきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	1年に1回バザーを開催し地域とのコミュニケーションを図っている。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	野菜を頂いたり、夏場はとろろてん等の差し入れがある。花木を頂いて育てている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	ゴミ集積所の清掃をして交流に努めている。
項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	申し送りや会議の中で地域高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、行事やイベントの時にお誘いしている。	○	今後も継続していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を全職員で実施し評価を元に改善している。	○	評価を生かし具体的な改善に向けて取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では3ヵ月毎の利用者の状況やサービス実施報告をし、いろいろな意見とサービス向上に生かしている。	○	今後も継続していきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	葉山町福祉課とは連絡を密にしている。	○	今後も継続していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修で学ぶ機会を設けている。必要な利用者には活用できるようにしていきたい。	○	後見制度について分からない職員もいるので今後教育する機会を作していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう常に注意を払い防止に努めている。研修会に参加しスタッフ会議で学んでいる。	○	研修を通して学んでいきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の施設見学の時に十分な説明を行い、理解、納得されていると思う。	○	今後も継続していきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に利用者の意見や希望を聞いて取り入れたりアンケート等も定期的にも実施して運営に反映させている。	○	今後も継続していきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月介護内容記録、預かり金、明細書、利用者の写真を添えて送っている。又家族来苑時に状況説明し意見や希望を聞き介護計画に反映するようにしている。又必要に応じて電話報告している。	○	今後も継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情があったときはミーティングや会議で発表し対応策を話し合い運営に反映させている。	○	今後も継続していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回実施。スタッフ会議やミーティングの時に意見を聞き反映させている。	○	今後も継続していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応が出切る様勤務調整を行なっている。	○	常に休暇が取れるようにしていきたいと思っているが現実的には中々難しい状況である。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動による影響への配慮がされている。	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間内部研修を立て実施している。又外部研修は、専門研修、スキルアップ研修等の計画を立て受けている。	○	今後も継続していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームで不定期に交流会を行い、色々な情報交換をしている。	○	今後も継続していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人の産業医の訪問があり希望者は面談することができる。又環境作りにも取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自向上心を持って働けるような、環境作りに努めている。	○	今後も継続していきたい。

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族や本人と面談し本人の不安や求めていることを聞きだし、信頼関係がもてるよう努力している。	○	今後も継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が困っていることや不安なことをよく聞きだし希望にかたえるよう努力している。	○	今後も継続していきたい。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常時施設見学を受け付けて入居前に確認していただき、必要としている支援をよく聞きだし対応するように努めている。	○	今後も継続していきたい。

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	気軽に施設を見ていただき他の利用者や職員と話をしながら場の雰囲気に馴染んでもらい入居後も本人の生活パターンを尊重して馴染めるよう工夫している。	○	今後も継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に生活しながらよく利用者と昼食後や夜に話、食事の準備や片付け、掃除等積極的に行なってもらいながら生活の知恵を教えていただいている。	○	今後も継続していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月介護内容記録を送りご本人の生活ぶりを知っていただき意見や希望を聞き一緒に本人を支えていくようにしている。	○	今後も継続していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	よち良い関係が築いていけるよう支援している。更に信頼関係を深めていくように努めている。本人の様子を出切るだけ詳しく家族に伝えている。	○	今後も継続していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方も訪問しやすい雰囲気作りをして行事や誕生会の時に家族や友人を招き食事を共にし楽しめる場を作っている。	○	今後も継続していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の話をよく聞いて孤立しないように利用者同士が支えあうよう努めている。	○	自然に気の合う同士が同じテーブルに着くようになっている。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	近くの方は時々立ち寄り様子を聞くなどの関係を作っている。又バザーの時にボランティアとしてきていただきお付き合いをしている。	○	今後も継続していきたい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の希望や意向を常に把握して対応している。又日常の行動から利用者の行動パターンを把握して対応している。	○	今後も継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	スタッフ会議で話し合ったり資料等を確認している。	○	今後も継続していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	スタッフ会議で話し合ったり個々の状態を把握するよう努めている。	○	今後も継続していきたい。

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や家族から希望や意見を聞き又職員間で意見を聞き介護計画を作成している。	○	今後も継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人や家族と話し合い作成している。又変化が生じた時は家族に連絡している。毎月のスタッフ会議でケース会議を実施し見直し作成している。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の他に連絡ノート等で情報を共有し実践しながら介護計画の見直しをしていかしている。	○	今後も継続していきたい。

3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況により法人の2つの解くようを活かしご本人の柔軟な支援をおこなっている。	○	今後も継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員・ボランティア・の方々の支援は定着して定期的に来苑され協力しながら支援している。学校行事等にも積極的に参加している。	○	今後も継続していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣の事業者や法人で話し合い他のサービス利用する為支援をしている。	○	今後も継続していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	法人全体で協働している。	○	今後も継続していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の時にかかりつけ医を開き往診医療を受けられるよう支援している。緊急時津連絡を蜜にしている。	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人全体で支援している。	○	今後も継続していきたい。
	○看護職との協働			

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人の看護職に相談する時もあるが、よく知っているわけではないので気軽に相談できるようにしていきたい。	○	今後は看護職員に気軽にできる様な体制作りをしていくよう検討している。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者と情報交換しながら早期退院に向けた取り組みをしている。	○	今後も継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族と重度化した場合や終末期のありかたについて話し合いをしている。		今後も継続していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所として、「できることできないこと」を見極めている。かかりつけ医にもすぐ相談できるよう日頃かかわりを大切にし、今後の変化については検討していく。		今後も継続していきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族と十分な話し合いをし、法人全体で情報交換を行い、住み替えのダメージや不安の解消に努めている。		今後も継続していきたい。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには十分に注意しながら折にふれ会議やミーティング時に言葉かけや対応方法等を話し合っている。	○	今後も継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意見を尊重し本人が自分で決めたり納得できる様日ごろより支援している。	○	今後も継続していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の意見を尊重しその人らしく過ごせるよう常に希望を聞きながら支援している。	○	今後も継続していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみやおしゃれを支援し本人の望む美容院にも行けるよう支援している。美顔器なども実践している。	○	今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に好みのアンケートをとりメニューにいかしたり、食事の下拵えや後片付けなど職員と一緒にしている。	○	カレーライスの際は野菜を切ったり炒めたりしていただいている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やたばこを呑む方はいないが、おやつや飲み物は日常的に好みを聞き楽しめるよう支援している。	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツは出切るだけ使用せず個別で時間を見ながら誘導。個別のパターンを把握し、排泄マニュアルを作成。気持ちよく排泄できるよう支援している。	○	個々の排泄レベルにより日中、夜間にあったトイレ誘導や夜間だけポータブルトイレを使用して気持ちよく排泄出切る様支援している。
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	通常週3回曜日を決めているが希望やタイミングにあわせるようにして臨機応変に対応している。入浴剤やアロマを利用したりバラ風呂等で楽しんでいただいている。	○	夜間入浴もしているが定期的に夜間での入浴をしていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の体調や希望に応じて自由に休息したり眠れるよう支援している。夜間は居室の温度に十分に気をつけている。	○	今後も継続していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	針仕事のできる方にはちりめん手芸をして作品を作り上げたりボランティアとの合唱や食事の下拵えをしたり洗濯物たたみをしたり、気晴らしの支援をしている。	○	今後も継続していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在利用者全員が事故管理が困難で苑で管理をしていたがコンビニ利用時の支払いは利用者のお金を渡すよう支援している。	○	今後も継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩、ウォーキング、暖かくなったら外気浴や外に歩いて行く買い物、庭でランチを召し上がっている。	○	月1日の外食や年間行司を実施。季節に合わせて花見や日帰り旅行、みかん狩り、イルミネーション見学に出かけている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間の行事を設けて利用者の意見を聞いて行きたいところに行っている。	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望により電話を掛けたり年賀状や暑中見舞いのハガキを出されている。	○	絵手紙のボランティアさんが月1回来苑し指導していただいている。
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人、知人等いつでも来苑できる様に取り計らっている。面会時は居室でゆっくり過ごして頂けるようにしている。	○	今後も継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵をかけているが、居室ドアは施錠しない。又勝手口のドアも鍵をかけないよう付け替えた。	○	今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の生活パターンを把握し日中は数人の職員が見て夜間は一人の職員が2時間おきに巡回している。	○	今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご家族と相談して行なっている。	○	今後も継続していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に応じ見守り介助を行ない事故防止に取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルや応急手当のマニュアルで対応するようになっているが定期的に訓練は行っていない。	○	研修や勉強会を定期的に行い緊急時に備えたい。
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回行っている。地震マニュアルを作成し今後避難方法を身につけたい。	○	法人の取り組みとして地域の防災、地域協力を結んでいる。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の状況に応じてあらかじめ対応策を話し合っておく。	○	今後も継続していきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常があったらご家族と連絡して対応している。連絡ノートやケア記録で情報を共有し対応している。	○	今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全て施設預かりで用法に沿って服薬支援している。全員が薬の目的や副作用、用法、用量についてわかりたい。	○	処方箋を読み全職員が把握できるようにしていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給を促したり便秘を防ぐ為の献立を作成したり、歩行練習や体操を行なっている。排泄のチェックも行っている。	○	今後も継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日3回食後に声かけで行なっている。介助が必要な利用者には介助で行なっている。つきに1回歯科医により希望で口腔ケアを行なっている	○	今後も継続していきたい。
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食毎に食事量をチェックしている。利用者の身体状況によりメニューを変えたり調整している。水分についても不足がちな片には水分をチェックして確保に努めている。	○	今後も継続していきたい。
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルに基づいて対応している。	○	ノロウイルスやインフルエンザの時期には苑内消毒や温度、湿度に注意している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所調理器具は毎日消毒。食材管理には十分気を配り賞味期限内に使うようにしたり、新鮮で安全な食材を使用と管理に努めている。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関廻りには植木やプランターに草花を植えたり、季節の飾り付けをしている。	○	今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節感を出すよう、苑内の飾り付けを行なっている。又お香やアロマをたいて居心地よく過ごせるよう工夫している。	○	今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士気のあった同士で同席出切る様ソファ等設置している。	○	今後も継続していきたい。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の長年使っていた家具、他に囲まれ生活している。	○	今後も継続していきたい。
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>利用者にあわせ空調をかえ、常に苑内の温度、湿度に注意し、1日1日ずつ換気するようにしている。</p>	○	<p>今後も継続していきたい。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>内部は全てバリアフリーになっており、手摺も設置し通路は夜間フットライトが点灯する。自立した生活が送れるよう工夫している。</p>	○	<p>今後も継続していきたい。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人一人見守りして行なっている。</p>	○	<p>今後も継続していきたい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物廻りには桜の木や草花。又簡単な野菜作りをして収穫を喜び、食す事を楽しんだりしている。</p>	○	<p>今後も継続していきたい。</p>

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者の日常生活の中で、その人の持っている特技（針仕事）や好きな事柄を更に充実させています。
- ・利用者一人ひとりが自己主張でき、自分らしく暮らしている。
- ・利用者の性格・状況に合わせた手厚い介護がされている。
- ・利用者の気持ちが常に前向きでいられるような環境作りに留意している。